



熊本地震支援ニュース

2017年3月30日 NO. 11

発行：聴覚障害者災害救援対策本部 本部長 石野 富志三郎
事務局：一般財団法人全日本ろうあ連盟内
〒162-0801 新宿区山吹町130 SKビル8F
TEL：03-3268-8847 FAX：03-3267-3445 Email：saigai@jfd.or.jp

【熊本地震聴覚障害者支援対策本部より】 記：松永 朗

2016年4月14日、4月16日に発生した熊本地震から早くも1年経とうとしています。2017年3月20日付け熊日新聞には、「みなし仮設 申し込み絶えず」とのトップ見出しがありました。自宅が半壊以上の被害を受けた被災者が原則2年間入居でき、家賃を行政が負担する仕組みですが、物件不足や生活上の条件が合わないなどの問題があるようです。

第二次アンケート調査によると、仮設住宅に入居している聴覚障害者は4名で、狭さに堪える大変な生活のようです。みなし住宅入居は5名ですが、自宅で生活している人が241名と圧倒的に多く、ある意味では安堵しています。今後も見守りながら支援していきます。

救援対策本部の協力でろうあ者相談支援員の派遣を行ってきましたが、2月28日を以て終了しました。地震関係と言うよりも潜在していた問題が発見されて解決に活躍いただき感謝しています。今は、同行して学んでいた担当者が引き継いで支援を行なっています。

熊本県ろう者福祉協会は、1月14日（土）農産物や観光等に大きな打撃を受けた南阿蘇で新年会を開きました。熊本地震後であり、当初は中止も考えましたが、被害が大きかった南阿蘇に少しでも協力できればという考えから実施し、40名ほどの参加がありました。新年会の夜、会場のホテルに宿泊する人も多くいました。ホテルから眺める阿蘇連山が近くに見え、スマホで撮影する人もいました。このような和やかな姿を見て安堵しています。

熊本地震発生後より全国の仲間の皆さんたちからいろいろな支援をいただきました。仲間のありがたさを改めて感じています。ありがとうございました。



←新年会の様子

西原村の仮設住宅
集会所→



【ごあいさつ】

聴覚障害者災害救援中央本部 運営委員長 石野富志三郎
2016年4月に発生した熊本県熊本地方での地震を受け、聴覚障害者災害救援中央本部は同日「聴覚障害者災害救援対策本部」を設置し、2月末の解散まで、物資支援、通訳者派遣、相談支援等救援に関する支援を展開してまいりました。全国の皆様からたくさんの支援金やご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今後は地元で制度や社会資源について協議を進めていくこととなりますが、中央本部でも支援を継続していきます。日常的に地域でのつながりがあってこそ、災害時にも的確な支援、速やかな安否確認が可能となります。各地域本部の日頃の取り組みを進めてまいりましょう。

【熊本の支援にあたったろうあ者相談員から】 記：中村 慎策

2016年5月の始めに熊本支援に行ってくれないかという話しが、中央本部からあったときは正直言って私が……と思いました。熊本地震の被害は伝わっていましたが、相談員がいない事が最前線での支援にマイナスになってはいけなと、引き受けました。しかし、3か月はあっという間に過ぎ、地震以前から抱えていた様々な問題が、地震を契機に発覚するケースが多くなり、対処に時間がかかり、結局、本年(2017年)2月までの9ヶ月熊本支援に携わりました。継続案件はどうなるのか心残りですが、災害があってもなくても、ろう者誰もが相談や支援を受けられる新たな体制が、熊本に受け継がれることを願っています。

<支援金状況>

13,044,370 円 / 384 件

★3月30日現在



©2010 熊本県くまモン#熊本支援

熊本地震の支援金は熊本大地震で被災した仲間を支援のため、皆様にたくさん募金していただき感謝申し上げます。聴覚障害者災害救援中央本部としての支援は続きますが、支援金につきましては、2月末日で支援金受付の窓口を終了しました。

3月末までの支援金については熊本対策本部へ送金します。報告書の作成、相談支援の継続、社会資源プロジェクトチームの立ち上げ、熊本対策本部の活動資金などとして使われる予定です。